

2022 年度 事業報告(案)

〔 自:2022 年 4 月 1 日
至:2023 年 3 月 31 日 〕

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課のみであり、2022 年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

(単位:人)

役 員		職 員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(市派遣職員)	1
常務理事	0	総務課	2
理事(非常勤)	9	総務課(市派遣研修職員)	1
監事(非常勤)	2	総務課(会計年度任用職員)	2
		印紙証紙売りさばき所(会計年度任用職員)	3
計	12	計	9

(2) 評議員会

第 1 回評議員会(2022 年6月6日)(つくばカピオ中会議室)

- (ア) 2021 年度計算書類について承認
- (イ) 理事の選任について承認
- (ウ) 評議員の選任について承認
- (エ) 監事の選任について承認

(3) 理事会

第 1 回理事会(2022 年5月 25 日)(つくばカピオ中会議室)

- (ア) 2021 年度事業報告及び計算書類について承認
- (イ) 理事の選任について承認
- (ウ) 評議員会招集について承認

第 2 回理事会(2022 年9月 29 日)(つくばカピオ中会議室及び ZOOM)

- (ア) 2022 年度第 1 回補正予算承認
- (イ) 2022 年度の進捗状況及び課題について協議
- (ウ) 2023 年度事業計画の方針について協議
- (エ) 理事長による職務執行状況の報告

第 3 回理事会(2023 年2月 20 日)(春日交流センター大会議室及び ZOOM)

- (ア) 2022 年度第 2 回補正予算承認
- (イ) 2023 年度事業計画及び収支予算書について承認
- (ウ) 借入金最高限度額の承認について承認
- (エ) 理事長による職務執行状況について報告

臨時理事会(2022 年6月6日)(つくばカピオ中会議室及び ZOOM)

- (ア) 理事長の選出

2022年（令和4年）度事業計画（方針）

当協会は、2013年（平成25年）2月に一般財団法人として設立され、同年4月から業務を開始し8年が経過しました。

2022年（令和4年）2月1日現在、つくば市には133か国9,773人の外国人が居住し、国籍別では、中国籍者が最も多く、次いで、ベトナム、韓国、インド、フィリピンの順となっています。特に、ベトナム国籍者は2013年と比較して約7.7倍となっています。

このような中、2020年（令和2年）初頭から始まった新型コロナウイルス感染拡大は今もおさまる気配はなく、当協会事業においても、一部で中止や延期など当初の計画どおりに実施できない状況が続いています。

一方で、大人から子どもまで幅広い世代に対する日本語支援は、年々必要性が増しています。コロナ禍においては、特に大人に対してオンラインを活用しながら事業を進めておりますが、多くのボランティアや団体等のご協力が欠かせません。

しかしながら、長期間にわたる継続的なボランティアへの研修が必要になるなど、オンラインならではの課題や、共働き家庭の増加などの影響もあり、活動できるボランティアの確保が難しくなっています。

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になります。

また、同年のつくばセンタービル、リニューアルに合わせ、当協会に求められている国際交流機能について、関係各所と検討する必要があります。

2022年（令和4年）度は、このような状況に鑑み、引き続き、行政、教育関係及び関係団体等と連携し、より強い体制を整えるとともに、下記の3点を重点目標として取り組みを進めます。

1. コロナ禍及び収束後を想定した事業計画

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら対面で事業を行えるように工夫します。また、オンラインを活用することで自宅や職場などから事業に参加することが可能となったため、コロナ禍に得た新たな手法を積極的に取り入れます。

2. ボランティアが参加しやすい環境づくり

これまで当協会では、多くの事業をボランティアの皆さんと共に実施してきましたが、新型コロナウイルスに感染することへの懸念や共働き家庭の増加、労働年齢の延長などにより、従来の内容では、活動できるボランティアの確保が難しくなりました。これらのことから、ボランティアが参加しやすい事業展開を検討し実施します。

3. 協会10周年事業及びつくばセンタービル、リニューアルに伴う、当協会に求められる国際交流機能の検討

2023年（令和5年）は、当協会の財団法人化から10年が経過し節目の年になり、つくばセンタービル、リニューアルオープンに合わせ、当協会がつくば市や市民などから求められている国際交流の機能について、改めて検討する必要があると考えています。

ついては、10周年事業のための実行委員会を発足させ、2023年のリニューアルオープンに新たな取り組みを始められるよう準備を進めていきます。

2. 2022 年度 事業概要 年度別 事業計画 比較表

今後も、当協会が多様な人々と共に歩むための、外国人支援や市民交流のあり方等について、市や関係機関と連携しながら協議を進めます。

国際交流事業

2022 年度事業計画	
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1 日本語（大人向け）	(ア)日本語講座 (イ)日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学進学支援	(ア)こども日本語指導者研修会 (イ)こども日本語勉強会（日本語学習相談） (ウ)小中学校就学・高校進学ガイダンス (エ)こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア育成・派遣（拡充）	
4 メディカル英会話講座	
5 やさしい日本語で防災講座（新規）	
6 ウクライナ避難民支援事業（新規）	
文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1 フェスティバル（国際交流フェア）	
2 文化交流	(ア)世界お茶のみ話 (イ)日本・外国文化体験
3 姉妹友好都市交流（拡充）	
4 おもてなし英会話（名称変更）	
5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣	(ア)通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣 (イ)ボランティア交流会（新規）
6 シティーチャットカフェ	
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）	
2 賛助会員募集	
3 10 周年記念事業準備会（新規）	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	

2021 年度事業計画	
A 外国人生活支援事業（対象：外国人）	
1 日本語（大人向け）	(ア)日本語講座 (イ)日本語ボランティア講師入門講座
2 こども日本語・就学進学支援	(ア)こども日本語指導者研修会 (イ)プレスクール・プレクラス (ウ)こども日本語勉強会 (エ)こども日本語支援プラットフォーム会議
3 医療通訳ボランティア養成・派遣	
4 メディカル英会話講座	
5 外国人のための相談室（廃止）	
B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）	
1 フェスティバル（国際交流フェア）	
2 文化交流	(ア)世界お茶のみ話 (イ)日本・外国文化体験 (ウ)世界のうまいもんをつくばで（廃止）
3 姉妹友好都市交流（1 年延期）	
4 やさしい英語でおもてなし講座	
5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣	
6 シティーチャットカフェ	
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）	
1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査（座談会）	
2 賛助会員募集	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）	

2022 年（令和 4 年度）度つくば市国際交流協会事業一覧表

国際交流事業 ※（新規）（拡充）は、前年度当初計画との比較

A 外国人生活支援事業（対象：外国人）

- 1 日本語（大人向け）
（ア）日本語講座（拡充：対面授業の復活拡大、講師の待遇改善）
（イ）日本語ボランティア講師入門講座
- 2 こども日本語・就学進学支援
（ア）こども日本語指導者研修会
（イ）こども日本語勉強会（日本語学習相談）
（ウ）小中学校就学・高校進学ガイダンス
（エ）こども日本語支援プラットフォーム会議
- 3 医療通訳ボランティア育成・派遣（拡充：オンライン通訳の導入）
- 4 メディカル英会話講座
- 5 やさしい日本語で防災講座（新規）
- 6 ウクライナ避難民支援事業（新規）

B 文化交流事業（対象：日本人・外国人）

- 1 つくばフェスティバル（国際交流フェア）
- 2 文化交流
（ア）世界お茶のみ話
（イ）日本・外国文化体験
- 3 姉妹友好都市交流（拡充：大田市とのオンライン講座の開催）
- 4 おもてなし英会話（名称変更）
- 5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
（ア）通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
（イ）ボランティア交流会（新規）
- 6 シティチャットカフェ

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業（対象：外国人・日本人）

- 1 ニーズ調査・広報（ホームページ・facebook・Link!発行）
- 2 賛助会員募集
- 3 10 周年記念事業準備会（新規）

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業（対象：日本人）

(2)事業詳細

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 日本語講座(大人向け)

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として、教室運営を日本語ボランティア講師（TIVONA の会）にお願いし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン（Zoom）開催とした。

当初、対面授業も計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大が改善しないことから、オンラインのみの開催となった。

また、ボランティア待遇改善として、オンライン講座においても謝礼を支払うこととした。

さらに、ボランティアの育成のため、日本語ボランティア入門講座及び現ボランティアのための勉強会を開催した。

(ア) 日本語講座

【実績】

①クラス数：全8クラス（日本語1～3・日本語の会）

②期 間：前期（4月～9月、120回）、後期（10月～3月、120回）

③方 法：オンライン（Zoom）開催

④受講者数及び講師数：

	受講者	講師
前 期	120 名	28 名
後 期	94 名	27 名
合 計	214 名	55 名

⑤参加費：2,000 円

勉強会「動詞のグループ分け」と「活用」の教え方

【実績】

①期 日：2023 年 3 月 18 日

②講 師：坂本舞氏（インターカルト日本語学校講師）

③対象者：TIVONA の会会員

④方 法：オンライン（Zoom）開催

⑤参加者：20 名

⑥参加費：無料

(イ) 日本語ボランティア講師入門講座

【実績】

- ①期 日：2022年9月8日、15日、22日、見学（全4回）
- ②講 師：井上里鶴（りず）氏 茨城県日本語教育アドバイザー、TIVONAの会
- ③対象者：ボランティアで外国人に日本語を教えてみたい人
- ④方 法：オンライン（Zoom）開催
- ⑤参加者：20名
- ⑥参加費：2,500円

2 こども日本語・就学・進学支援

【概要】

外国につながるこども達の日本語指導及び就学・進学支援を行うため、こども日本語指導者の育成や小中学校への就学、高校への進学ガイダンスを行った。

また、つくば市内のこども達の日本語指導の課題や今後の支援のあり方などについて、関係団体と共有し、対応していくための会議を実施した。

（ア）こども日本語指導者研修会

日本語指導が必要な児童生徒に対する指導者を育成するため、座学と実習を行った。修了者のうち4名がこども日本語勉強会で継続的な活動を始めた。

【実績】

- ①開催日：座学：2022年8月2日、5日、9日
実習：9月以降 2回（計5日間）
- ②場 所：つくば国際会議場及び、つくばスタートアップパーク内
- ③参加者：24名（修了者18名）
- ④参加費：2,000円

（イ）こども日本語勉強会(日本語学習相談)

つくば市教育委員会及び認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所との連携により、こども日本語勉強会を開催した。

【実績】

- ①開催日：（前期）2022年4月12日～2022年10月7日（火曜日、金曜日）
（後期）2022年10月11日～2023年3月17日（火曜日、金曜日）
- ②回 数：クラス76回、日本語力チェック及び保護者面談11回、
- ③対 象：つくば市内の公立学校に通う5年生以上高校生以下
- ④参加者：22人（延べ674人、平均8.9人）（アフガニスタン、アンゴラ、インド、エジプト、スリランカ、タイ、パキスタン、マレーシア、南スーダン、台湾、中国、日本(フランス)）
- ⑤講 師：23人（延べ538人 平均7.1人）
- ⑥内 容：講師は、こどもの日本語力を確認するとともにその状況を保護者に説明し、こどものレベルに合ったテキストに沿って学習に臨めるようにした。また、定期的にミーティングを実施し、指導方法について講師間で共有した。

⑦参加費：無料

(ウ) 小中学校就学、高校進学ガイダンス

つくば市教育委員会との協働事業として、小中学校への就学、高校進学ガイダンス、日本語力チェック及び日本語学習のアドバイスを小中学校就学、進学ガイダンスを実施した。このガイダンスでは、7か国語（日本語、英語、スペイン語、ダリ語、中国語、シンハラ語、タイ語）で説明を行った。

【実績】

①開催日：2022年9月23日

②場 所：つくば国際会議場

③内 容：小中学校就学ガイダンス、高校進学ガイダンス、
日本語力チェック、日本語学習相談

④参加者：25家庭60名、運営：11名

内訳（重複参加あり）

小中学校ガイダンス：33人

高校ガイダンス：31人

日本語チェック：11人（他に数名が後日実施を希望）

⑤対応言語：日本語、英語、スペイン語、ダリ語、中国語、シンハラ語、タイ語

⑥参加費：無料

(エ) つくばこども日本語支援プラットフォーム

市内の小中学校において日本語学習が必要な児童生徒への支援方法について、日本語教育に携わる団体等が情報共有と情報交換を行い、具体的な活動に繋げていく機会を作ることを目的に実施した。

構成団体：筑波大学、筑波学院大学、風の会、つくば市教育委員会学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、当協会（主催者）、NPO センターコモンズ（アドバイザー）

【実績】

①開催日：6月2日

②開催場所：オンライン

③内 容：つくば市の日本語学習要支援者の課題整理及び具体的な活動について議論した。

④参加者：筑波大学、風の会、つくば市教育局学び推進課、つくば市市長公室国際都市推進課、当協会、NPO センターコモンズ（アドバイザー）

3 医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が医療機関を受診する際、母国語で安心して診察を受けられるように、「医療通訳ボランティア派遣協定」を締結した医療機関の依頼に基づいて、医療通訳ボランティアを派遣した。

つくば市医師会に加盟する市内クリニックや診療所に対して、外国人患者の受診頻度や医療通訳の必要性などについてアンケートを実施した。

【実績】

(ア) 医療通訳ボランティア派遣

派遣件数：6件（中国語：4件、スペイン語：2件）

・参考

2019年度から筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、いちほら病院及び茨城県立医療大学附属病院の3医療機関と医療通訳ボランティア派遣協定を締結し費用の有料化を開始した。

派遣料：1回 3,000円

(イ) 市内クリニック、診療所アンケート調査

①実施期間：7月15日～8月5日

②実施方法：QRコードまたはFAXにて回答

③対象：つくば市医師会に加盟するクリニック及び診療所など

④内容：外国人患者の受診頻度、医療通訳の必要性、課題など

⑤結果：

アンケート送付数：150

回答数(回答率)：31 (20.7%)

- ・中国語、ベトナム語、英語、ポルトガル語などの必要性がある
- ・診療には通訳者の同伴をお願いしている。機械通訳の使用。院内話者が対応
- ・受付、問診、診察時に必要
- ・医療機関で通訳費用の負担は困難

4 メディカル英会話講座

【概要】

市内の医療従事者を対象に、外国人の病院受診で必要となる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についてのメディカル英会話講座を行った。講座は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員及び医療通訳派遣協定締結病院の特典として、会員及び登録事業所等勤務者の受講料を免除した。

【実績】

①期 日：11月3日（木・祝） 60分/回

②場 所：Zoom利用によるオンライン講座

③内 容：「薬の処方」・「内科」・「受付」・「産婦人科」の4科目

④参加者：延べ38人

（「薬の処方」11人・「内科」9人・「受付」13人・「産婦人科」5人）

⑤参加費：1科目1,000円

※ただし、当協会賛助会員（法人、団体、個人）、医療通訳派遣協定

締結病院関係者は無料

※ 協定病院：筑波大学付属病院、筑波メディカルセンター病院、
いちほら病院

5 やさしい日本語で防災講座

【概要】

外国人につながる方々を対象に、やさしい日本語を使い地震体験会を行い、防災の知識や対処方法を周知することを目的として開催した。

なお、この活動は、一般社団法人減災サステナブル大賞 防災・減災×SDGs 賞
アカデミー&ジュニアアカデミー部門のコミュニティー賞を受賞した。

【実績】

- ①事業名：やさしい日本語で地震体験
- ②期 日：12月3日
- ③場 所：オンライン（Zoom）
- ④講 師：水谷浩子氏（防災士）
- ⑤参加者：66人、スタッフ・ボランティア：15人
- ⑥主 催：筑波大学社会貢献プロジェクト にほんごでおしゃべり！プロジェクトチーム
- ⑦共 催：つくば市国際交流協会
- ⑧後 援：つくば市、つくば市教育委員会

6 ウクライナ避難民支援事業

【概要】

ウクライナから戦争のため、つくば市に避難民として来日した方を支援するため、次の事業を実施した。

【実績】

（ア）協会独自の募金活動

ウクライナの人道危機対応及び救援活動を支援するため、令和4年4月7日（金）から5月31日（火）までの間、当協会窓口に募金箱を設置した。

募金の総額は7,115円となり、日本赤十字社茨城県支部つくば市地区にお渡しした。

（イ）民間団体からの義援募金の分配

民間団体等から市内に避難されているウクライナの方々を支援したいので、集めた募金等を直接その方たちにお渡ししたいとの要望があったことから、市と連携して当協会が該当者に募金を分配した。

第1回

分配依頼団体名 「つくば道花の会（1回目）」様

金 額 133, 574 円

分配基準日の6月末現在、つくば市に居住者する9名の方に対し受取希望調査を行い、9月21日までに、受取希望者6名の方々に一人当たり22,000円を直接渡すとともに、生活状況のヒアリングを実施した。

第2回

分配依頼団体名 「つくば市ゴルフ協会」様
「つくばワールドフットサル実行委員会事務局」様
「つくば道花の会（2回目）」様

合計金額 327, 302 円

分配基準日の11月8日現在、つくば市に居住者する38名の方に対し受取希望調査を行い、1月20日までに、受取希望者27名の方々に一人当たり12,000円を直接渡すとともに、生活状況のヒアリングを実施した。

第3回

分配依頼団体名 「つくば道花の会（3回目）」様
「Photo Communication」様

合計金額 84, 646 円

募金の分配作業は、現在調整中

(ウ) 日本語学習支援

来日から日が浅く、日本語がわからない人のために、日本語講座を開催及び当協会の日本語講座を無料で受講（9月～2月）の機会を提供

○9月の1か月間、10月から日本語学校に入学予定のウクライナ避難民2名に対し、修学前の日本語教育をTIVONAの会がオンライン（ZOOM）で実施した。

※実績：全13回、日本語ボランティア 2名
2人に対して13回

○10月～2月 3人

(エ) ウクライナ料理交流会

ウクライナ避難民の皆さんの交流の機会をつくるため、年配の避難民の方が先生となり、参加者全員でウクライナ家庭料理を作り試食するなど、交流を行った。

第1回 日時 2月16日 午前10時～午後2時
場所 春日交流センター 調理室
人数 5人

第2回 日時 3月21日 先生の都合により中止

B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)

1 フェスティバル事業(国際交流フェア)

【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介、民芸品展示・販売、各国の料理販売)を通して、異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

2019 年度出展者に対して、スタンプラリーの参加を依頼した。(25 団体)

2 文化交流

(ア)「～一杯のお茶から世界が見える～ 世界お茶のみ話」(交流会)

【概要】

主に講演者の母国の紹介又は外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、国際理解の一助となることを目的として実施した。

【実績】

期日	国名	講師	参加者数	YouTube 閲覧数
2022 年 4 月 16 日	第 56 回 ジョージア	ダヴィド ゴギナシュヴィリ	6 名	469 回
5 月 21 日	第 57 回 オーストラリア	上堂 蘭 アン	10 名	342 回
6 月 18 日	第 58 回 フランス	セイフェン ジャワ	10 名	336 回
7 月 16 日	第 59 回 ネパール	ネウパネ アルズン	11 名	271 回
8 月 20 日	第 60 回 中国深圳市	深圳市第二高等学校生徒の皆さん	10 名	257 回
9 月 17 日	第 61 回 ウズベキスタン	ハサノフ フィルダウス パク オリガ	37 名	113 回
10 月 8 日	第 62 回 メキシコ	温祥子	11 名	60 回
11 月 19 日	第 63 回 韓国	キムユンヒ	12 名	80 回
12 月 18 日	第 64 回 つくば・インターナショナル・スクール	TIS の生徒の皆さん	17 名	調整中
2023 年 1 月 21 日	第 65 回 イギリス	ソフィー コン	22 名	188 回
2 月 18 日	第 66 回 ラオス	石原ゆり奈	17 名	70 回
3 月 18 日	第 67 回 ケニア	ミタロ・オスカー・ウィテレ	31 名	59 回

新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を講じている。YouTube 配信は継続的に行っている。

※ 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・人数を 20 名に制限して実施していたが、3 月から定員を増やした。
- ・飲食の提供を中止、・座席の十分な間隔を確保

- ・参加者の検温や体調の確認、・マスク着用、アルコール消毒の徹底

(イ) 日本・外国文化体験

【概要】

新型コロナウイルス感染症拡大以前は、インドネシアの中高生がつくばを訪れ、ホームステイや交流を行ってきたが、コロナ感染拡大等により交流等も中止となっていた。

今年に入り、コロナウイルスの水際対策が緩和されたことを受け、12月日本に来日し、7日から10日までつくばに滞在することとなり、その間、着物着付けや茶道の体験をできないかとの依頼があったことから、協会の国際交流事業の一環として、つくばでの日本文化体験を支援することとなった。

【実績】

- ①期 日：12月10日
- ②場 所：つくば市さくら民家園
- ③講 師：ボランティア・着物愛好会、茶道有志の会
- ④参加者：インドネシア中高生 25名
- ⑤内 容：着物の着付けと茶道体験

3 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

市の友好都市である韓国大田広域市との日韓青少年交流は、コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期し、令和5年度から再開に向け調整をしている。

このようなことから、交流活動の継続のため、オンライン（Zoom）を使い、「にているけど違うもの」をテーマに茶道及び料理による交流を昨年に引き続き実施した。

【実績】

期 日	タイトル	内 容	参加者
11月 5日	茶道	日韓両国の茶道のお手前の体験	日本： 6名 韓国： 11名
11月26日	料理	日本：海苔巻き、味噌汁など 韓国：キムパッ、テンジャンチゲなど	日本： 10名 韓国： 12名

場 所：つくばスタイル館、並木交流センター

協 力：茶道有志の会、KOREA 文化交流協会

4 おもてなし英会話

【概要】

つくば市を訪れる外国人観光客や市内在住外国人の応対を、やさしい英語（中学校レベルの英語で会話すること）を使ってできよう、様々な場面の応じた英会話のヒントを学ぶ講座を開催した。

また、開催は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、Zoom 利用によるオンライン講座として実施した。

なお、当協会賛助会員の特典として、受講料を免除した。

【実績】

- ①期 日：12月3日、12月10日 全2回、各日1時間
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン講座
- ③参加者：12月3日4人、12月10日4人
- ④参加費：2,000円 ただし、当協会賛助会員（法人、団体含む）無料

5 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介、ボランティア派遣

【概要】

各種団体からの要請に基づき登録ボランティアに依頼・派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与している。

【実績】

- ①通 訳：7件（世界お茶のみ話、日韓交流事業）
- ②翻 訳：2件（つくば市ライフプランすこやか 2022 版、2023 版 英語・中国語）
- ③ホームステイ：0 件
- ④文化紹介：0 件

6 シティ・チャットカフェ

【概要】

筑波大学及び協会の共催事業として、オンラインにて実施した。毎回、筑波大学留学生4～5名がコーディネーターとして参加し、1班4人程度のグループに分かれ、英語や日本語でフリートーキングを行った。

【実績】

- ② 開催回数：年13回 （協会担当 1月～3月）
- ②場 所：Zoom 利用によるオンライン開催
- ③ 参加者：各回20～25人程 度
- ④ 参加費：無料

日	参加者人数 (人)	スタッフ人数 (人)	合計 (人)
1月15日	8	3	11
2月19日	11	4	15
3月19日	10	2	12

C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)

1 ニーズ調査ホームページ、facebook、Link! 発行・

(ア) ホームページ・facebook

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、可能な限りリアルタイムに情報を発信する。

【実績】

イベント案内、報告、後援団体の情報を随時掲載した。

(イ) ニュースレター発行

【概要】

当協会の向こう数ヶ月に実施する予定の事業について周知することを目的に、ニュースレターを創刊し、区会回覧を行なった。

【実績】

発行:ニュースレターvol.1(2022年10月1日)創刊

発行部数:6,500部

配布先:区会回覧及び協会窓口、交流センターなど

(ウ) Link! 発行

【概要】

当協会の事業を広く周知するため、ニュースレターとして「Link!」を発行し、活動状況報告や直近のイベント予定などを掲載する。

【実績】

発行:Link! 第15号(2023年3月)発行。

発行部数:1,000部

配布先:賛助会員及び協会窓口にて配布したほか、つくば市中央図書館、窓口センター、交流センターなど市内各公共施設に配布した。

(エ) ニーズ調査

【概要】

2021年に市の国際交流室で外国人にアンケート調査の結果を受けて分析する。

【実績】

市の国際交流室で実施した外国人意識調査の結果も踏まえ、2023年度事業計画に反映した。

2 賛助会員募集

【概要】

協会の支援者及び自主財源を得ることで、安定した協会運営を維持する。

【実績】

個人会員：138 口、 団体会員：2 口、 法人会員：10 口
 会費合計：496,000 円

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)**【概要】**

つくば市民の旅券申請手続きに必要な印紙・証紙、葉書、切手などの販売及び証明写真の撮影を行うことで、市民へのサービス提供と当協会の財源確保を図る。

【実績】

年度別、パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影件数の推移

(単位:件)

年 度	印紙・証紙セット販売数			写真撮影
	10 年	5 年	12 歳未満	
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417
H29	5,672	2,788	1,350	3,252
H30	6,197	2,823	1,472	3,650
H31(2019)	5,945	2,767	1,381	3,323
R2 (2020)	1,075	288	139	790
R3 (2021)	916	254	189	727
R4 (2022)	3,839	1,172	728	2,574

※ 2022年度になって2021年度比で280%以上の販売数となっており、特に2023年1月からは400%以上に増加している。2019年度の印紙・証紙セット販売数の合計と比較すると約56.9%の回復となっている。